

# 日本は電気の使いすぎだ！！

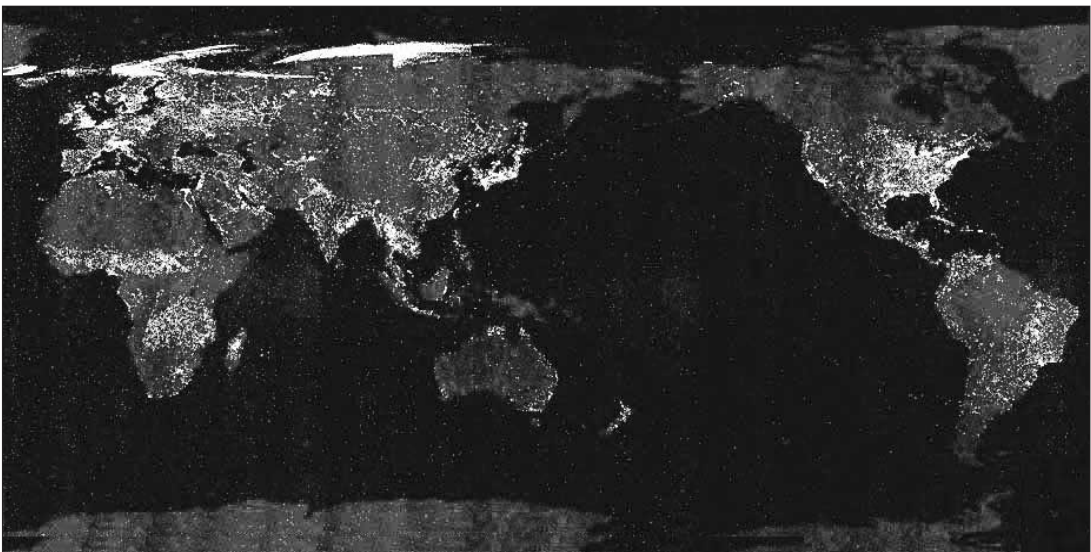
## 1.電気の大切さを実感させる

「省エネ」を知らない子、電気の使い方を知らない子など、あまりにも電気が身近すぎてその重要性に気づいていない子が多かった。

今回の授業の中で、一番子どもたちにとって印象的だったのは「電気がなくなったらどうなるか」であった。具体的に考えさせることによって、自分たちの生活にとってどんなに電気が大切か実感していたようである。

「エネルギーには限りがある」というのを知らない子もたくさんいた。年間3時限でもいいので、少しずつエネルギー教育をやっていけば、これからの省エネの推進、そして新エネルギー開発にも携わる子どもが出てくる可能性もある。たった1時間の授業でも、子どもたちは、エネルギーや自分たちの未来について考えることができた。授業してみても子どもたちに本当に必要な教育だと実感した。今後は、省エネ以外のエネルギー教育にも取り組んでみたい。

## 2.「夜の地球」のポスターを黒板に掲示する



発問1 これは何かの写真のコピーです。何でしょう。

星座・空から見た北海道・宇宙から見た日本・夜景・地図などが出される。  
続いて、「夜の地球」のポスターを印刷したものを全員に配布する。

発問2 よくわかるように印刷しました。さあ、何でしょう。

「あっわかった。」の声が上がる。「先生、地図を出していいですか。」と世界地図と比べて確認し始めた子が何人かいた。「これは夜とったんですか。」の質問も出た。NASA「夜の地球」のポスターであることを告げる。

●やはり個人に1枚ずつあったほうがわかりやすい。

発問3 これらの「白い所」はなぜ白いのでしょうか。考えられることを地図の下のほうに書きなさい。時間は3分間です。

「星・月・街灯・車の光り・電気・人が住んでいるから明るい・火」などが出される。

説明1 夜の地球のあかりには、大きくわけて4種類があります。

- |               |  |
|---------------|--|
| ①山火事、焼き畑の火    | 焼き畑とは、森や草原を燃やしている火です。南アメリカやアフリカなどでは、畑を作るために最初に火で燃やすのです。          |
| ②石油や天然ガスの燃える火 | ペルシャ湾の沿岸が明るいのは、たくさんの油田があるからです。                                   |
| ③漁り火          | 日本海が明るく光っているのは、船で魚をとるためのあかりです。イカやサンマを水面におびきだすために、漁船からつりさげられた光です。 |
| ④電気のあかり       | 都会の通りの光や、建物の光です。   |

指示1 日本はどこでしょう。指でおさえなさい。

これは全員がすぐできた。

発問4 では、日本が白い理由はア～エのどれでしょう。

- |             |                |
|-------------|----------------|
| ア.山火事、焼き畑の火 | イ.石油や天然ガスの燃える火 |
| ウ.漁り火       | エ.電気のあかり       |

・予想はアが0人、イが3人、ウが5人、エが16人。正解は「エ.電気のあかり」であることを説明する。

発問5 日本は電気を多く使うほうですか、それとも少ないほうですか。

「多いほう」であることを全員で確認する。

指示2 では、これだけ電気を使う日本で、電気がなくなったらどうなるでしょうか。電気がなくなったら困ることをできるだけたくさん書きなさい。

- ・暗くなる
- ・真っ暗で勉強できなくなる
- ・掃除機や洗濯機が使えない
- ・事故が増える
- ・料理ができない
- ・食べ物を買ってきてすぐ食べないとくさる
- ・テレビ・ゲームやお風呂が使えない
- ・ジュースがぬるくなる
- ・冬寒くて夏暑い

※あまりにも電気があるのが普通で「なくなったら」というのがイメージできないようだった。ほかの人の発表を聞いていくうちに思いついた子どもも多かった。

発問6 では、電気はいつなくなるでしょうか。

- ア.来年なくなる
- イ.あと10年でなくなる
- ウ.あと100年でなくなる
- エ.なくならない
- オ.その他

- ・「エーッ電気がなくなるの！」という声上がる。
- ・予想を聞く前に、「電気がどうやってつくるんですか。」という質問が出たので説明する。

## 子どもたちの感想

- 今日の社会はいろいろなことがわかった。電気がなくなったら大変だとわかった。電気を使いすぎだったとわかった。自分も使いすぎだから気をつけたいです。今日の勉強はおもしろかったです。
- 今日は電気のいろいろなことがわかってよかったです。でも電気が本当になくなると聞いてちょっといやでした。でもまだ何十年かはもつといわれたのでよかったです。でも電気がなくなるとゲームやテレビを見たりできないし、冷蔵庫が使えなくなったりするからいやでした。
- なるべく電気をつけすぎないことか。あと石油は44年後になくなるって聞いたからとても驚きました。でもそれが本当だったらとっても大変です。
- 今日の社会の授業で、50歳になったらぼくはどこかで死ぬかもしれない、ぼくはやばいと思いました。

- 今日の勉強は楽しかったけど、今から生まれた子どもがかわいそうだなと思いました。それと省エネを増やさないとだめだなと思いました。
- 日本は電気の使いすぎだ。電気のむだ使いはやめて、もっと大切に使うほうがいいと思う。
- 今度は電気をあまりつけないようにしたいです。もし電気がなくなったら何もできないから大変だなあとと思いました。
- 今日は難しかったけど楽しかった。もうちょっと節約しようと思う。
- 今日の社会の勉強でわかったことは、節約や新しいエネルギーを見つけないと、電気が使えなくなるということと、このままずっと使っていると、日本は暗くなってしまうというのがわかりました。
- 今日の勉強で1番考えたことは、「電気がなくなったら」です。もし新しいエネルギーが発明されなかったら、電気が使えなくなってとても大変でこまるなあとと思いました。
- 今日の石油や電気がなくなるという話を聞いて思ったことは、わたしたちはまだいいじょうぶだけど、今から生まれてくる子どもたちがとってもかわいそうです。
- 今日の授業で思ったことは、日本がこんなにたくさん電気を使っていて、心配でした。わたしは今から節約しようと思いました。
- ぼくは、電気がつかなくなったらいろんなことができなくなったり、人の命もあぶないことがあるので、できるかぎり節約をしたい。
- 今日、社会の勉強で地球のことをいろいろ知りました。地球がたくさん電気を使っていることも知りました。あと44年後に石油がなくなるときいて、もっと電気がもつといいなあとと思いました。
- 石油がなくなったら電気が使えなくなるのでみんなこまります。だからみんなにもはやくエネルギーをリサイクルできるようにして、電気を安心して使える生活にしたいです。そのためにも電気の節約をしたいです。
- あと44年で電気が使えなくなると聞いて、ちょうびっくりしました。ずっと電気をあまり使わないようにしたいです。